

またもや空転！！

川越市の十八番！ 再び・・・

2015年12月3日、議案第108号「仮称川越市新学校給食センター整備運営事業契約について」に対し大泉一夫議員・高橋剛議員・川口啓介議員・柿田有一議員の4議員が質疑をおこなった。

「仮称川越市新学校給食センター整備運営事業契約」は、東洋食品グループが落札。契約期間が平成44年8月31日までと約17年間、また契約金額は約122億円。「仮称川越市新学校給食センター整備運営事業」は、設計・建設業務、維持管理業務、運営業務を民間主導で行うPFI事業である。

PFI事業とは、公共施設等の設計・建設・維持管理及び運営に、民間の資金・経営能力・技術的能力等を活用し、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を民間主導で行う事業のことである。

大泉議員・高橋議員の質疑は、順調に進んだが川口議員の3回目の質疑のとき、「現段階で、この事業の良し悪しについて総合的に判断するだけの材料を頂いていないと思っている」と資料の少なさを指摘している。最後に川口議員は「ご答弁があればうかがいます」と質疑を締めた。この質疑に対して学校教育部長の答弁はなかった。

次の質疑者である柿田議員は、「詳細な質疑に入る前に、2点確認させて頂きたいことがある」と質疑に入った。

1点目は、「川口議員の質疑の最後にもあったように、現段階で市から示されている資料によって、我々議員は「仮称川越市新学校給食センター整備運営事業契約」について十分な判断をおこなうことができるのか」と質疑。

2点目は、「川合市長の後援会から頂きました「後援会ニュース」の中の「現在進行中の工事」の項目に書かれている「新学校給食センター整備」という記載がある。12月議会に上程される以前に書かれているものであるから、議会が決定することを前提として作成されている。私は大変、違和感を覚えました」と質疑。

1点目の質疑に対して学校教育部長の答弁は、「市として決定したことについては、公開し議会でも報告している。しかし、不十分ということなので話を伺いながら（資料を）提供していきたいと考えている」と答弁する。

2点目の質疑に対して川合市長の答弁は「広報担当が作ったものである。最終段階において見たのだけ見落としてしまった。明らかな間違いである。大変皆様方に御迷惑をおかけして申し訳ございませんでした」と謝罪の答弁をする。

市長答弁後、議員の中から「休憩！」との声があり5分の休憩となる。この休憩中に議会運営委員会が開催される。

議会運営委員会では、本会議の学校教育部長の答弁の中で資料の提供を示唆する答弁であったので、市側はどのような資料を提供するのか執行部に確認。また、市長の答弁を正確に把握するために議事録をおこすことを決め休憩となる。

休憩を挟み議運が再度開催される。再開された議運には学校教育部長を招き、学校教育部長より提供資料の説明があった。1つ目は選定事業者代表である東洋食品の「提案書についての資料」。この資料提出には2～3日かかるとのこと。8日火曜日に資料提供となった。2つ目は、市が直営でおこなった場合の細かい積算についての資料の提供。この資料はすぐに提供できる状態であるとの説明があった。

議運は新しい資料の提供があるため、現在中断している柿田議員の質疑を再開するための日程調整をおこなった。新たな日程は、9日の10時より柿田議員の質疑再開と決定する。

質疑再開の日程が決まる前に、選択肢の一つとして市側の「議案取り下げ」という委員からの声も上がったが、9日に質疑再開ということで議運を終了した。

本会議に戻り、9日10時から質疑を再開することを吉田議長が議会に報告し、この日は散会となった。

果たして、このままでよいのだろうか。柿田議員は質疑を9日に再開することができるが、柿田議員の前に質疑をおこなった、大泉議員・高橋議員・川口議員は新たな資料提供を受け、新たな疑義や質問が出てくる可能性は十分にあると思われる。また、柿田議員であるが、資料提供を受けてから1日あれば資料を精査できる旨を議運の中で発言している。

川越市はこのように説明不十分な資料の提出に疑問を呈された以上、本定例会での「議案取り下げ」が妥当ではないのか。次の定例会（2月定例会）、あるいは1月に臨時議会を開催し、そこで改めて議会に上程することが望ましいのではないか。

17年間122億円の契約である。新しい資料が出てくるのであれば、川越市議会議員諸氏に資料を精査する時間を与えるべきだ。

—— 雑 感 ——

議案第108号

柿田有一議員の1回目の質疑に対する市長答弁

御答弁申し上げます。

後援会ニュースの件ですが、後援会のほうで来年1月の会合を企画いたしましたして、それに向けて何らかのニュース、資料を出そうということを決めて、広報担当の人がつくった。そういう経緯でございます。

最終段階において私も見せられたのですが、余り時間のない中で、それほど、気合を入れなくて見てしまったために左下に書いてありましたものを見落としてしまいまして、現在工事中というのは、明らかな間違いでございます。

それを見落とした私も大変不徳のいたすところでございますが、これにつきましては、御案内を出した人に配布しただけでございますして、こういう御指摘をしばらく前にいただきまして、「えっ」と思いまして、これは本当は1月の会合の時に配ろうという予定だったのですが、急きよそれは取りやめにいたしまして、1月にはもう少ししっかりしたものを配るという予定で広報がつくり直しておるところでございます。

以上です。

大変皆様方に御迷惑をおかけして申し訳ございませんでした。

なんとなく辞書を引くとこんな言葉があったのです。

川越のエラーイお方にピッタリコンではありませんか。

\* 驕り：得意になってたかぶること。思い上がり。「一が油断を生む」

\* 惑わす：思慮を乱させる。分別を失わせる。

\* 言い逃れる：うまく言い訳して責任や罪を回避する。言い抜ける。

「嘘をついてその場を一」

\* 自己弁護：自分の正当性を主張し、相手の追及から自身をまもること。

\* 詭弁：(俗に奇弁とも書く) 道理にあわない弁論。こじつけの議論。

\* 情けない：(情け無い) あまりのふがいなさにがっかりする気持ちである。

嘆かわしい。みじめに感じさせるさま。みすぼらしい。みっともない。

「一結果に終わる」「連戦連敗とは我ながら一」「泥まみれの一姿」

「一声を出すな」